

レジリエンス研究教育推進コンソーシアム第17回幹事会議事要旨

- 1 日時：令和3年7月20日（火） 11時00分～11時40分
- 2 場所：オンライン（Web会議システム Zoom）
- 3 出席者：林（会長）、甘利（副会長）、遠藤（副会長）、岡島、石濱
陪席者：西田（防災科学技術研究所）、松本（〃）、倉谷（〃）、丹羽（〃）、田代（〃）、
齊藤（筑波大学）、高野（〃）、秋葉（〃）、鈴木（〃）、根本（〃）

（敬称略）

4 議事

I. レジリエンス研究教育推進コンソーシアムに係る事案

(1) 第4回シンポジウム準備状況について

遠藤副会長から、資料1-1～1-2に基づき、令和3年10月13日（水）開催予定の第4回シンポジウムのタイトル・概要・登壇者・周知先等について説明があり、原案のとおり承認された。また、遠藤副会長から、臼田裕一郎氏の講演タイトルが「ニューノーマルで変わるデジタル防災技術」に決定した旨の補足説明があった。さらに、来年の Joint Seminar 減災との共催による第5回シンポジウムについて、7月19日（月）に行われた Joint Seminar 減災事務局の木村玲欧教授と筑波大学のWGでの打合せ内容を踏まえ、次の点が情報共有された。

- 令和4年2月14日（月）午後を候補日とする。
- 対面会場として関西大学梅田キャンパスを仮押さえ済みであるが、開催方法を対面開催/オンライン開催/ハイブリッド開催のいずれにするかは、今後のワクチン接種の状況等を考慮しつつ検討する。
- 講演者は林勲男教授（国立民族学博物館）、糸井川栄一教授（筑波大学名誉教授）を候補として、打診を進める。

(2) セミナーイベント「Security Days Fall 2021」への後援について

遠藤副会長から、資料2-1～2-3に基づき、昨年度に続き株式会社ナノオプト・メディアからコンソーシアムに情報セキュリティ関連イベント「Security Days Fall 2021」への後援依頼があった旨の説明があり、後援することが承認された。

(3) JST「共創の場形成支援プログラム（COI-NEXT）」申請完了について

遠藤副会長から、資料3-1～3-3に基づき、筑波大学を代表機関としてJST「共創の場形成支援プログラム（COI-NEXT）」への申請を完了した旨の報告とともに、今後の審査スケジュールについて情報共有があった。

(4) R2EC 情報交換会「レジリエンス研究教育推進コンソーシアムと筑波大学によるリカレント教育の実践」開催報告

遠藤副会長及び岡島委員から、資料4に基づき、令和3年6月8日（火）に開催された情報交換会について、参加人数や実施内容等の報告があった。

(5) その他

- ・NTT 宇宙環境エネルギー研究所の入会予定について

遠藤副会長から、JST「共創の場形成支援プログラム（COI-NEXT）」申請に参画した NTT 宇宙環境エネルギー研究所がコンソーシアム入会を予定しており、現在事務手続きを進めている旨の情報共有があった。

II. 筑波大学リスク・レジリエンス工学学位プログラムに係る事案

(1) 令和 4 年度大学院入試（令和 3 年度実施入試）の日程について

岡島委員から、資料 5 に基づき、来年 1 月～2 月に実施する令和 4 年度大学院入試日程について説明があり、今後もコンソーシアム参画機関所属者で学位取得に関心のある方に向けて、学位プログラムから積極的に周知・情報発信していくことが確認された。続いて、石濱委員から、6 月 8 日（火）の情報交換会でヒアリングした参画機関からのニーズをもとに、学位プログラムや大学としての受け入れ体制整備をさらに進めつつ各参画機関への周知を行うよう提案があった。

(2) その他

岡島委員から、新規の協働大学院教員として、産業技術総合研究所職員で学位プログラムの非常勤講師を務めている研究者 1 名を推薦予定である旨の情報共有があり、今後、コンソーシアム並びに筑波大学の人事審査フローに沿った手続きを進めることが確認された。

以上